

東京銀座シタニ歯科口腔外科クリニックの新谷 悟院長が東京スポーツ新聞の【名医の診察室】(5月1日)に掲載されました。口腔がん、口の病気の早期発見を!

東京銀座シタニ歯科口腔外科クリニック新谷悟院長

名医の診察室

世界初の舌がんエコー検査実施

谷悟院長(57)岡山大学医学部口腔外科教授。舌がんの権威で、帰国手術が得意な。8年在籍した昭和歯科大学(東京)口腔外科教授を1に志す。今年2月に「舌がん」を世界で初めて行ったのは、東京銀座シタニ歯科口腔外科クリニック(東京都中央区)の新谷悟院長だ。「患者さんにはどのような治療を当に望んでいるのか、それをしっかりと受けとめて、希望に沿った治療をしてあげたいと考えています。加えて、口腔がんの早期発見を目的として、舌がんエコー検査を導入しました。これにより、舌がんの早期発見が可能になり、治療の成功率も高くなります。また、舌がんエコー検査は、痛みも少なく、検査時間も短く、患者さんにとって負担が少ない検査です。ぜひ、舌がんエコー検査を受けてください。」

口腔がん 早期発見 3つのポイント

1. 舌、歯肉、頬の粘膜に白斑がある
2. 舌、歯肉、頬の粘膜に赤斑がある
3. 舌、歯肉、頬の粘膜に赤白斑がある

新谷院長は世界で初めて舌がんの「口腔内エコー検査」を行った。これにより、舌がんの早期発見が可能になり、治療の成功率も高くなります。また、舌がんエコー検査は、痛みも少なく、検査時間も短く、患者さんにとって負担が少ない検査です。ぜひ、舌がんエコー検査を受けてください。」

1年に1、2回の検診を!!

新谷院長は「これまでの経験を生かし、最先端の診断・治療・確実なインプラント外科、口腔がん予防、アンチエイジングを患者さんに提供すべく歩み始めた。」

第56回 大橋巨泉さんの悪夢を医学で分析

大橋巨泉さんは「悪夢」を乗り越え、人生を生き抜いた。医学博士吉田たかゆい氏が、大橋さんの悪夢を医学的に分析し、その原因と対策を解説する。

日々星 医学博士吉田たかゆい

日々星 医学博士吉田たかゆい氏は、大橋さんの悪夢を医学的に分析し、その原因と対策を解説する。

口腔がんとは

口腔がんとは口の粘膜にできるがんの総称。日本では年間約7000人がかかると推定されている。年齢別では70代が最も多く、29.1%、次いで60代が26.5%、50代が18.1%、40代が12.0%、30代が9.3%、20代が4.1%と増加傾向にある。また、舌がんは口腔がん全体の約30%を占め、死亡率も高い。早期発見と適切な治療が重要である。